

中学校・高校

全校レクリエーションと体育祭を開催!

中学校の「全校レクリエーション(全レク)」と高校の「体育祭」が9月17日(木)に開催されました。今年の中全レクは、中学校の全生徒が紅組と青組に分かれ、元気いっぱいに行われました。1年生から3年生までの徒競走リレーでは、応援にもひとときわ熱が入り、盛り上がりました。競技の最後を締めくくったのはクラス対抗リレー。スウェーデンリレー方式で、運動場を半周、1周、1周半、2周とどんどん苦しくなるリレーです。どのクラスもアンカーがゴールすると仲間が駆け寄り、喜びや悔しさの涙があふれていました。結果は紅組980点、青組1020点で青組が総合優勝を飾りました。

高校の体育祭は、クラス対抗リレーや障害物リレー、玉入れのほか、1年生は運動場をフルに使った壮大なダンス、2年生はそれぞれのクラス担任の似顔絵を組み立てて競いあう「みんなでパネル」、3年生は授業の合間の限られた時間の中、各クラスがこだわりを持って衣装づくりや練習を行った「青春の躍動」を披露。練習の成果を十分に発揮しました。「青春の躍動」では3年雲組が優勝を飾りました。



クラス担任の似顔絵を組み立てて競いあう「みんなでパネル」(高校)



おもいっきり走りました(中学校)



盛り上がったムカデ競争(中学校)



「青春の躍動」で優勝を飾った高校3年雲組(高校)

イベント報告

大盛況の『若葉祭』



中学校・高校の合同文化祭「若葉祭」が9月27日(土)、28日(日)に開かれました。今年のテーマは「Let it go〜ありのままの自分を出そう!〜」。文化祭実行委員長の2年雲組、●●●●さんは「普段の学校生活では出さきれていない、自分の隠された才能を存分に発揮してもらおう」とテーマを決めたと話します。

1日目の舞台発表は昨年完成した新体育館で行われ、ダンスやミュージカルなど、どれも素晴らしい発表ばかり。綿密に計画を立て、夏休みから練習してきた成果が出ていました。2日目の模擬店や教室での展示も1日目の舞台発表に負けないぐらいの魅力が詰まっています。大盛況となりました。



イベント報告

中学生が遠足を楽しみました

活動報告

10月31日(金)、中学1〜3年生が遠足に行きました。

1、2年生は吹田市の万博記念公園へ。1年生は地図と案内板を頼りにクイズを解きながら自然文化園を歩きました。深まりゆく秋の一コマをカメラに収めながら、クイズラリーを楽しみました。



中学1年生、お弁当タイム

2年生は、来年の修学旅行の練習を兼ね、現地集合にして教員が近鉄・大阪難波駅や千里中央駅で集合場所へ向かう生徒を見守りました。現地では生徒1人ひとりが「秋」を探し出し、写真を撮ったり、俳句を詠んだりしました。

そして、3年生は明石海峡大橋がある兵庫県明石方面へ足を延ばしました。橋の科学館で橋を架ける技術などを学んだ後、実際に橋へ。道路の下にある周遊路を歩いて海峡の上へ行くというスリリングな体験をしてきました。午後からは班ごとに午線を目指して移動。みんな無事に明石市立天文科学館に辿りつきました。授業で習ったばかりの天文分野がそのまま学べるようになっていて、生徒たちは楽しみながら学べた様子でした。



電子黒板を使った授業を開始

活動報告

中学校・高校では昨年の9月より、電子黒板を使った授業が始まっています。高校3年生の数学演習では生徒の解答を電子黒板に映し出し、教師や生徒同士が添削するといった使い方をしています。これまでの授業では板書するために下を向くことが多かった生徒もしっかりと顔を電子黒板に向けるようになり、学習効果も高まっているようです。

電子黒板はグループ学習にも取り入れています。グループ学習は考える力、議論する力、プレゼンする力が養われます。なかでも生徒同士の教え合いが学習力を向上させると期待しています。中学2年生の国語の授業では、生徒がipadや本で調べ、グループのメンバーと相談しながら資料を作り、電子黒板を使って発表していました。



今後、さらに活用の幅を広げ、授業の充実度を上げていく予定です。

伝統の『スキー学舎』が100回目を迎えました

活動報告

12月20日(土)〜24日(水)、長野県の志賀高原でスキー学舎が行われました。希望者を対象に毎年、春と冬の年2回実施され、今回で100回目を迎えました。大自然の中で、生徒同士が学年を越えて交流し、絆を育む目的で開催されています。指導はすべて本校の先生が行うという歴史のある行事です。

今回は100回目ということもあり、前回よりも多い140人の生徒が参加。スキー班、スノーボード班に分かれて講習を受けました。講習3日目になると、スキーが初めての生徒たちも上手に滑れるようになり、ゲレンデでの滑走を楽しんでいました。クロスカントリーやポールレッスンを体験したり、雪上レクリエーションでは雪だるまを作ったりして雪山を存分に楽しみました。最終日は、毎回恒例の室内レクリエーションを行うなど、思い出に残るスキー学舎となりました。



WingBEAT!
～はばたくSHOIN GIRL～

図書委員会が「本の福袋」を企画しました

みんなに本を読んでもらおうと、図書委員会の生徒が初めて「本の福袋」を企画しました。「恋する本」「奇跡がおこる本」「サスペンス」「魔女」などテーマを決め、それに合う本を選びました。委員会のメンバーは本好きの生徒たちばかりで、たくさんの本の中から読んでほしいものを厳選しました。ラッピングやテーマを紹介するコメントカードなどもすべて手作り。12月1日(月)から図書室で限定30冊を貸し出しました。

活動報告



ラッピングやテーマを紹介するコメントカードなどもすべて手作り。12月1日(月)から図書室で限定30冊を貸し出しました。



高校の取り組みが朝日新聞で紹介されました

学校の歴史や教育、クラブ活動を紹介する朝日新聞の紙面企画「まなび!教育2015」(1月6日・大阪府内版)に高校の取り組みが紹介されました。「学び合い」に力を入れる教育方針や調理実習に臨む健康栄養コースが取り上げられたほか、バントワリング部の強さの秘訣、校長先生が生徒の行いを表彰するプライドカードなどが掲載されました。また、昭和初期から変わらない制服について取材を受けた生徒が「樟蔭高生として過ごした思いがこめられた制服。ずっとこのまま変わらないでほしい」と話していました。



報告

幼稚園

こんなにいっぱい拾ったよ! 樟徳館でどんぐり拾い



園児たちが「樟徳館」まで歩いて、『どんぐりを拾い』に行きました。ビニール袋いっぱい集めたどんぐりを先生に見せながら「こんなにいっぱい拾ったよ!」「帽子をかぶったどんぐりを見つけたよ!」とうれしそうでした。持ち帰ったどんぐりは、クリスマスリースの飾りにしたり、先生とアイデアを出し合っって色んなものに変身させていました。また、園庭ではどんぐり転がしをして遊ぶ園児もいました。学園の創設者の邸宅だった「樟徳館」。身近に登録有形文化財に触れる機会となりました。



活動報告

菜の花の種をまきました

司馬遼太郎さんの命日(2月12日)は「菜の花忌」と呼ばれています。小阪キャンパスの近くにある司馬遼太郎記念館が中心となって2004年から街に菜の花を咲かせる取り組みを続けています。これに幼稚園も参加しており、11月に年少組から年長組までの園児たちが園庭に菜の花の種をまきました。菜の花の種は小さく、すぐに風で飛んでしまいます。そのため、風で飛ばないように慎重に種をまいていました。芽を出した菜の花は2月ごろに淡い黄色の花を咲かせます。たくさんの可愛い菜の花が咲くのを楽しみにしています。

活動報告



サンタさんから1人ひとりにプレゼント

12月12日(金)、大きなクリスマスツリーや雪の結晶の飾り付けなどでデコレーションしている遊戯室で、恒例のクリスマス会を行いました。とんがり帽子をかぶった園児たちは先生の劇を見たり、みんなで「赤鼻のトナカイ」を歌うなど、賑やかな時間を過ごしました。一番の楽しみは、サンタさんからのプレゼント!プレゼントが1人ひとりに配られると、園児たちはサンタさんと握手したり、ハグしたりして、大喜びでした。みんな笑顔でクリスマス会を満喫していました。



イベント報告

達成感とともに成長した自分に出会えました

大学祭「若樟祭」(関屋キャンパス)

心理学部臨床心理学科2年生

●●●●さん

第28回若樟祭実行委員長

毎年秋、香芝市の関屋キャンパスで開催してきた「若樟祭」。最後となる第28回若樟祭が10月18、19両日に開かれました。多くの卒業生を送り出してきた関屋キャンパスを惜しんで、例年より多い1万人以上の方が訪れました。実行委員長の●●●●さんは「大変だったけど、準備してきた甲斐がありました。来場者からうれしい言葉とたくさんの笑顔をいただきました」と振り返ってくれました。



先輩の推薦で実行委員長に

実行委員長になったのは先輩からの推薦でした。理由は「みんなの意見をまとめて、引っ張っていけるから」。自分の意見や考えを伝えるのが苦手な私にできるかなって戸惑いましたが、成長できるチャンスかも知れないと引き受けました。そもそも、ボランティア活動などを自主的にやったことがなかったので、大学入学を機に挑戦してみようと実行委員会に参加しました。

テーマは「アルバム～28年の記憶～」

実行委員会のメンバーは7人。ほのぼのとした雰囲気、2月から週1回のミーティングを重ね、本格始動したのは4月から。「関屋キャンパス最後の大学祭にふさわしいイメージは何か」とテーマを考え、「アルバム～28年の記憶～」にしました。これまで先輩たちが積み重ねてきた27年間にわたる関屋キャンパスの思い出とともに、みんなの心に最後の若樟祭を刻めればと思いました。企画の立案から芸能人への出演交渉、ポスターやパンフレットづくりまですべてを7人で担いました。大変だったのはパンフレットです。表紙を写真にするかイラストにするか、テーマをどう表現するか悩みました。最終的には女の子が手にしたアルバムから写真が飛び散っているイラストに決めました。女の子の髪の毛の色から袴にあ



先輩たちに助けられ

実行委員の中心メンバー6人と4回生の先輩たちや友人、くすのき祭実行委員会(小阪キャンパス)など、たくさんの支えにより乗り越えることができました。当日は実行委員の中心メンバーの人数不足がネックになり、事前に組んだシフト通りにはいきませんでした。あたふたしていた私に元実行委員長の先輩は「もっと落ち着いて。みんながどこにいるか俯瞰して、把握するんやで」とアドバイスしてくれました。ふと心が軽くなったようでありがたかったです。

達成感と同時に安堵の気持ちも

それでも、なんとか大学祭を終えると「やった!」という達成感を味わいましたね。同時に肩の荷が下りたような安堵感もありました。8カ月の準備期間中、メンバーが少しずつまとまっていく、そして直前にはひとつになったのを感じました。共通の目的に向かって心をつなげる充実感こそ、私が求めていたものじゃないか。そう気づきました。何より成長した自分に出会えたようで、苦心して作ったパンフレットと実行委員会のパーカーは大事な宝物になっています。来年は小阪キャンパスの大学祭「くすのき祭」の実行委員会に入って、もっともっとたくさんの笑顔を見たいと思っています。後輩たちにもぜひ、一緒に達成感を味わってほしい。きっと違う自分に出会えますよ。



中学校

体操部



左から▲▲▲▲さんと●●●●さん

2013年9月に強化クラブとなり、本格的に活動を始めたばかりの体操部。部員数はまだ3人と少ないながら、大阪1部選手権や大阪中学校総合体育大会などに出場し、好成績を収めています。

「体操を楽しめる仲間が増えたらうれしい」。そんな思いを秘めながら新しくなった体育館で高校体操部の先輩と一緒に日々の練習に汗を流しています。キャプテンの●●●●さん(2年李組)、副キャプテンの▲▲▲▲さん(2年李組)にインタビューしました。

Q クラブの雰囲気や普段の練習内容は?
A ●●さん(以下、●●) 3人は、クラスも同じでとても仲がよいので、和やかな雰囲気です。また、それぞれが自分の気持ちを素直に言いあえるようにしています。ただ仲良しだけでは甘えが出てしまい、練習もだらけてしまうことがあります。だから高校の先輩と一緒に練習できるのがとてもありがたいですね。空気が引き締まって練習に集中できますから。先輩には体操のほかにも、勉強と

クラブの両立の仕方などアドバイスをもらっています。
▲▲さん(以下、▲▲) いつもの練習は月曜を除く平日は午後4時~6時半、土曜は午後2時~6時、日曜が午前9時~午後1時。ランニングや柔軟体操で体をほぐし、前転や後転など簡単なアップをしてから、それぞれの種目別を練習します。

Q 得意や苦手な種目は?
A ●● 得意なのは跳馬です。一発勝負だから好きです。苦手なのは平行棒。小3の時、鉄棒で車輪の練習中に頭から落ち、頭蓋骨を骨折したのがトラウマになっています。緊張すると、体が震えたり、汗をかいたりするんです。今はメンタル面を克服するのが課題です。
▲▲ 平行棒が得意です。苦手なのは平均台で、幅10センチの台に手をついたとき、少しでもゆがんでいたら、落下につながります。それが怖くて。克服するにはやっぱり練習を重ねるしかありません。筋力をアップさせて、体の軸をしっかり作っていきたくと思っています。

Q 体操をはじめたきっかけや楽しさは?
A ●● 5歳のときに、運動神経が悪いのを心配した親が地域の体操教室に入れてくれました。新しい技ができるようになる自分がうれしくて、体操教室に通う日はわくわくしていました。そのわくわく感が中学生になった今も続いています。
▲▲ 3歳で体操クラブに入りました。とにかく回転するのが楽しかった。今回回転が好きだから平行棒が得意になったのかも知れません。体操クラブの先輩がやっていた技を自分

ができるようになると、すごうれしかったんです。中学では少しずつ難易度の高い技に挑戦していて、成功させたいという気持ちがより強くなりました。

Q 今後の目標は?
A ●● キャプテンとしては、自分の一生懸命な姿を見せることでみんなを引っ張っていきたくです。3年生になると3つの大会(私立中学総合体育大会、大阪1部選手権、大阪総合体育大会)があります。前回大会では団体9位でした。大きくジャンプアップして、団体優勝を目指しています。個人ではさらに脚力を鍛え、得意の跳馬で優勝したいです。
▲▲ 個人総合で優勝したいですね。前回の大会は3位でしたが納得のできる演技ではありませんでした。試合のビデオを見返すと、つま先や膝がきれいに伸びていないんです。普段の練習のときから意識して、美しさにこだわった演技をしたいです。

2人は新しい体育館は日当たりがよく、気持ちよく練習ができてうれしいと話しています。また、平行棒が新しくなって、「今までよりも練習に身が入ります」と喜んでいました。

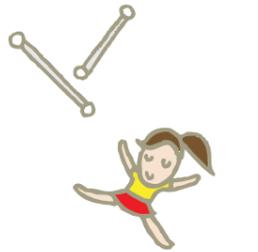


中学体操部のメンバー。右は会計の■●さん

クラブ活動報告

中学校・高等学校

- バトントワリング部
<中学校・高校>
結果
ジャパンカップ 2014(9/12~9/15)
優勝 中学校バトンチーム
優勝 中学校ボンボンチーム
優勝 高校ボンボンチーム
第2位 高校バトンチーム
第24回バトントワリング大阪府大会(9/15)
金賞 中学校バトンチーム
金賞 中学校ボンボンチーム
金賞 高校バトンチーム
金賞 高校ボンボンチーム
第36回バトントワリング関西大会(11/3)
金賞 中学校バトンチーム
金賞 中学校ボンボンチーム
金賞 高校バトンチーム
金賞 高校ボンボンチーム
平成26年度ダンスドリル秋季競技大会 関西地区(11/15) 高校ボンボンチーム Dance Drill Winter Cupの出場権獲得
POM部門Small編成チーム 4位
Ms.SOLO部門3年生の部 個人 2位 ●●●●(高3年春組) 3位 ●●●●(高3年春組)
活動状況
★USA Regional Competitions 2015(大阪大会)(1/17) 出場 高校ボンボンチーム
★平成26年度大阪府民体育大会第17回大阪バトントワリングコンテスト(1/17) 出場 個人
★第40回全日本バトントワリング選手権関西大会(2/14~15) 出場 個人
★第40回全日本バトントワリング選手権大会(3/27~29) 出場 個人



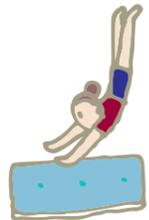
- ダンス部
結果
<中学校>
第3回日本中学校ダンス部選手権 DANCE STADIUM(8/3)
西日本予選大会 通過
小阪中校区まつり ダンス甲子園in小阪(10/25)
優勝
<高校>
第27回全日本高校・大学ダンスフェスティバル(神戸)(8/6~9)
創作コンクール部門 入選
第55回大阪高等学校創作ダンス発表会(11/9)
1位
活動状況
<中学校>
★大阪市春季総合体育大会(6/1) 賛助出演
★Osaka TAKASHIMAYA Dance & Shopping 「NANBA発 ココロ、オドル。」(7/30) 出演
★大阪市秋季総合体育大会(9/28) 賛助出演
★ダンスフェスタ東大阪(11/9) 出演
★第3回日本中学校ダンス部選手権 DANCE STADIUM(12/14)決勝大会 出演
<高校>
★平城京天祭2014 夏(8/29) 出演
★平城京天祭2014 秋(11/3) 出演
<中学校・高校>
★100周年記念イベント「樟蔭百年」(8/23,24) 出演
★第28回大阪私立中学校高等学校 芸術文化祭典(10/4) 出演
★夢広場 ヤングフェスタ(10/5) 出演
★第8回おおさか体操祭(11/23) 出演
★キッズチアダンスカップ2014 in NAGAI(12/21) 出演
★第4回ダンス・ガラOSAKA(3/21) 出演



- 新体操部
結果
<中学校>
近畿ジュニア大会(7/24)
個人の部 3位 ●●●●(中3年春組) 6位 ●●●●(中3年春組)
団体の部 2位 [●●●●(中3年春組) ●●●●(中3年春組) ●●●●(中3年春組)] ●●●●(中3年春組) ●●●●(中2年春組)
中学生大会(9/15)
個人の部 1位 ●●●●(中3年春組) 2位 ●●●●(中3年春組)
活動状況
★近畿大会(6/15) 樟蔭高校 団体出場
★第30回樟蔭中学校・高校 新体操部 発表会(2/15)
★2015樟蔭Cup(第5回 国際大会)(3/21~3/24)



- 体操部
結果
<中学校>
大阪1部選手権(7/31)
個人総合 4位 ●●●●(中2年李組) 7位 ●●●●(中2年李組)
種目別 跳馬 5位 ●●●●(中2年李組) 平均台 4位 ●●●●(中2年李組) ゆか 4位 ●●●●(中2年李組)
大阪中学校総合体育大会(10/18)
団体総合 9位
個人総合 3位 ●●●●(中2年李組)
種目別 平均台 優勝 ●●●●(中2年李組) ゆか 3位 ●●●●(中2年李組)



- <高校>
2部・3部大会(2部)(8/8-9)
団体総合 2位
個人総合 8位 ●●●●(高1年春組)
8月31日 大阪総合体育大会(2部)(8/30-31)
団体総合 2位
個人総合 9位 ●●●●(高3年冬組)
新人大会(2部)(11/8-11/9)
団体総合 優勝
個人総合 6位 ●●●●(高1年春組) 9位 ●●●●(高2年春組)

- ソフトテニス部
結果
<中学校>
第32回大阪府中学生インドソフトテニス大会(11/3)
団体戦 準優勝
個人戦 5位 [●●●●(中1年春組) ●●●●(中1年春組)] 5位 [●●●●(中1年春組) ●●●●(中2年春組)]
12月末の近畿大会に出場決定



- <高校>
大阪高校春季大会(5/31)
団体戦 ベスト16
大阪高校総合体育大会(10/25)
団体戦 ベスト16
平成26年度東大阪市民選手権大会(12/14)
優勝 [●●●●(高2年秋組) ●●●●(高2年春組)]
準優勝 [●●●●(高1年春組) ●●●●(高1年春組)]

- バスケットボール部
結果
<中学校>
サマーカップ2014(8/19)
優勝
最優秀選手賞 ●●●●(中1年春組)
優秀選手賞 ●●(中3年春組)
<高校>
第61回大阪私立高等学校総合体育大会バスケットボール選手権大会(11/2~23)
決勝トーナメント進出!



- 剣道部
結果
<高校>
剣道段位審査会(6/22)
剣道初段合格 ●●●●(高2年春組)
剣道二段合格 ●●●●(高2年春組) ●●●●(高2年春組)
活動状況
★春稽古(1/4~1/6)
★大阪高等学校剣道新人大会 個人試合(1/17) 団体試合(1/25)
★剣道段位審査会(3/28)



- 吹奏楽部
<中学校・高校>
結果
大阪府吹奏楽連盟コンクール(7/31)
銅賞
活動状況
秋の全国交通安全運動ワンデースクール(八戸ノ里ドライブスクール)(9/27)
東大阪ごさかJazzストリート(10/12)
クリスマスコンサート(12/23)
東大阪市消防出初式(1/11)



- 軽音楽部
<高校>
結果
全国高校軽音フェスティバル(6/22)
2次予選進出
大阪府芸術文化祭ウィンターフェスティバル2014(12/27)
本選進出
We are Sneaker Ages 2014予選会(8/9)
入賞



- 美術部
結果
<中学校>
第63回大阪私学美術展(7/29~8/3)
奨励賞 ●●●●(中1年春組)
<高校>
第63回 大阪私学美術展(7/29~8/3)
絵画部門
優秀賞 ●●●●(高2年春組) ●●●●(高3年春組) ●●●●(高3年春組)
奨励賞 ●●●●(高2年春組) ●●●●(高3年春組)
版画部門
優秀賞 ●●●●(高3年春組)
奨励賞 ●●●●(高1年秋組) ●●●●(高1年花組) ●●●●(高2年春組) ●●●●(高2年春組)

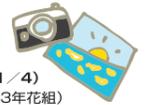


- デザイン部門
奨励賞 ●●●●(高2年春組)
イラスト部門
優秀賞 ●●●●(高2年春組)
奨励賞 ●●●●(高1年秋組) ●●●●(高1年花組) ●●●●(高2年春組) ●●●●(高3年春組) ●●●●(高3年春組)
第28回 大阪私学芸術文化祭典(10/4~10/5)
[ポスター・チラシ・チケット原画制作] ●●●●(高3年春組)
大阪府献血啓発作品 ポスター原画(12/16)
府知事賞 ●●●●(高2年春組)
優秀賞 ●●●●(高3年春組)



- 工芸部
<高校>
結果
第63回大阪私学美術展(7/29~8/3)
優秀賞 ●●●●(高1年春組)
奨励賞 ●●●●(高2年春組) ●●●●(高2年春組) ●●●●(高3年春組) ●●●●(高3年春組)
※来年度 全国総合文化祭出展

- 写真部
<高校>
結果
同志社女子大学「SEITOフォトコンテスト」(11/4)
入選 ●●●●(高1年春組) ●●●●(高3年春組)



- 箏曲部
<中学校・高校>
活動状況
第28回大阪私立中学校高等学校芸術文化祭典(10/4) 出演
第35回大阪府高等学校芸術文化祭(1/25) 日本音楽部門 出演



- コーラス&ハーモニー部
<中学校・高校>
活動状況
花園セントラルスタジアムにてプロ野球ウエスタンリーグ公式戦・開会式(4/20) 「君が代斉唱」参加
京セラドーム大阪にてクライマックスシリーズ・ファーストステージ開会式(10/14) 「君が代斉唱」参加



大学

- ソフトテニス部
結果
平成26年度関西学生ソフトテニス秋季リーグ戦(9/20-21)
6校リーグ戦 5位



- 卓球部
結果
第7回山泉和子杯卓球選手権大会(8/9-10)
高校一般女子シングルス(1)
ベスト8 ●●●●(健康栄養学科)
高校一般女子シングルス(2)
ベスト8 ●●●●(児童学科) ●●●●(臨床心理学科)
高校一般女子ダブルス
ベスト4 ●●●●(児童学科) ●●●●(健康栄養学科)
ベスト8 ●●●●(臨床心理学科) ●●●●(児童学科)



- 第81回全日本総合卓球選手権大会関西予選(8/12-13)
女子シングルス(1)
ベスト4 ●●●●(臨床心理学科)
平成26年度近畿選手権大会奈良県予選会(6/14)
2位 ●●●●(臨床心理学科)
3位 ●●●●(健康栄養学科)
2014年奈良県大学卓球選手権大会(6/22)
女子シングルス
1位 ●●●●(健康栄養学科)
2位 ●●●●(臨床心理学科)
女子ダブルス
1位 ●●●●(健康栄養学科) ●●●●(児童学科)
3位 ●●●●(臨床心理学科) ●●●●(児童学科)



● 皆様とのコミュニケーションスペース

2015年度 入試日程及び関連イベントについて

学園各校の平成27年度の入試日程及び関連イベントについて、ご紹介いたします。お近くに進学年齢を迎えた方がいらっしゃいましたら、ぜひ樟蔭への進学を薦めていただけますようお願い申し上げます。入試に関する詳細な情報を知りたい方や、願書や資料の送付を希望される方は下記の各担当窓口までお問い合わせください。

2015年度 入試日程

| | 試験名 | 試験日 | 合格発表日 |
|-----|----------------------|---------------------|----------|
| 高校 | 入 試 | 2月10日(火) 学力試験 | 2月12日(木) |
| | | 2月11日(水・祝) 面接※1 | |
| 大学 | 一般入試AII | 2月 7日(土) | 2月14日(土) |
| | 一般入試AIII(センタープラス)※2 | | |
| | 一般入試B | 2月28日(土) | 3月 7日(土) |
| | 一般入試C | 3月16日(月) | 3月19日(木) |
| | 大学入試センター試験利用入試A | 大学独自の個別学力試験は実施しません。 | 2月14日(土) |
| 大学院 | 大学院(人間栄養学専攻)II期 | 2月28日(土) | 3月 7日(土) |
| | 大学院(臨床心理学専攻)II期 | | 3月 5日(木) |
| | 大学院(化粧品ファッション学専攻)II期 | | |

※1 専願者のみ。 ※2 一般入試AIIを受験した者のみ出願可能です。

お問い合わせ先 ■ 大学・大学院：学園入試広報室 TEL:06-6723-8274
■ 中学校・高等学校：中高幼事務室 TEL:06-6723-8185

オープンキャンパスイベントのお知らせ

| | 行事 | 日程 | 時間 |
|----|---|------------------|-------------|
| 大学 | 春のオープンキャンパス(全学部対応) | 3月21日(土・祝)・22(日) | 10:00-15:00 |
| | ● 場所：小阪キャンパス ● 内容：さまざまな学科体験企画や、模擬授業、学生や先生とお話できるスペースもご用意しております。 | | |

お問い合わせ先 ■ お問い合わせ：学園入試広報室 TEL:06-6723-8274

「大阪樟蔭女子大学ファミリー入試」がスタートしています!

2014年度入試より、大学の入試制度として「大阪樟蔭女子大学ファミリー入試」がスタートしています。2016年度入試の詳しい詳細については、**学園入試広報室(TEL:06-6723-8274)**へお問い合わせください。

人事

- 退職
- 大学/職員 中 郁子(2014.9.30付)
 - 法人/職員 日下 早基子(2014.12.31付)
- 新規採用
- 法人/職員 経営戦略室(準備室)課長 大江 重治(2014.12.1付)

BOOK Info.

大学 学芸学部 ライフプランニング学科
萩原 雅也 教授 著
『創造の場から創造のまちへ クリエイティブシティのクオリア』
日下 早基子(2014.9.24.水曜社)

大学 学芸学部 健康栄養学科
石蔵 文信 教授 著
『なぜ妻は、夫のやることなすことに食わないのか エリアン妻の共生するための15の戦略』
(全221頁/2014.9.27.幻冬舎)

大学 児童学部 児童学科
菅 正隆 教授 共著
『英語教育 ゆかいな仲間たちからの贈り物(2)』
(全255頁/2014.12.10.日本文教出版)

書籍紹介

今、日本の教育が危ない。特に英語を取り巻く状況は問題が山積している。そこにメスを入れた好評の第二弾。英語教育界のカリスマたちによる、笑いあり涙ありの珠玉の一作。

学園を支えてくださる皆様へ

樟蔭学園は、創立100周年という大きな節目に向かおうとしております。次世代にも誇れる学園として更なる飛躍を遂げるため、皆様からの温かいご支援をお願いいたしたく、寄付金にご協力くださいますようお願い申し上げます。寄付制度の詳細につきましては、100周年記念事業本部へお問い合わせください。

問い合わせ窓口

100周年記念事業本部
TEL:06-6723-8152 FAX:06-6723-8263

第8回 英語落語発表会

今年も生き生きとした学生による英語落語の発表と、本学の非常勤講師であるプロの落語家、桂かい枝師、桂あさ吉師、そしてゲストによる英語落語をお楽しみいただけます。

日 時:2015年2月18日(水) 13:00~15:30
場 所:小阪キャンパス 円形ホール 入場料:無料 定 員:150名(定員になり次第締め切り)
お申し込み締切:2015年2月10日(火)(先着順)
〔プログラム〕

第1部 13:00~14:00 「学生とともに英語落語教室一吐と英語落語」
第2部 14:15~15:30 「プロの落語家による英語落語」

お申し込み方法:本学ホームページまたはメール・FAXにて①「英語落語」観覧希望
②氏名(ふりがな) ③住所 ④電話番号を必ずご記入の上、下記までお申し込みください。
お問い合わせ:〒577-8550 東大阪市菱屋西4-2-26 大阪樟蔭女子大学 国際英語学科事務センター
TEL:06-6723-8316 FAX:06-6723-8348 URL:http://www.osaka-shoin.ac.jp

国文学科 書道コース生による「卒業書作展」

日 時:2015年2月18日(水)~22日(日) 10:00~17:00
場 所:小阪キャンパス 記念館2F(281教室)

第14回 心の相談コロキアム

テーマ:「すべての子どもの発達に応じた教育や心の支援のポイント~大学と学校現場との連携の実践を通して、発達障害の理解と支援の方法を考える~」

日 時:2015年2月14日(土) 14:00~15:30
場 所:関屋キャンパス

講 師:橋本 秀美氏(本学 心理学部教授) 対 象:一般及び学生
受講料:1人500円(当日支払制) 定 員:100名(先着順)

お申し込み締切:2015年2月10日(火)必着
お申し込み方法:本学ホームページまたはメール・FAXにて①住所 ②氏名(ふりがな)③電話番号 ④FAX番号 ⑤E-mailアドレス ⑥参加希望講座名を必ずご記入の上、下記までお申し込みください。

お問い合わせ:関屋キャンパス カウンセリングセンター
TEL:0745-71-3150 FAX:0745-71-3140
E-mail:counseling-center@osaka-shoin.ac.jp URL:http://www.osaka-shoin.ac.jp
※詳細はHP等をご確認ください。

第11回 グリム絵本館の節分!!

女子大学生の立場から地域の子育て支援に取り組んでいる「大阪樟蔭女子大学グリムプロジェクト」。学生たちは、奈良県香芝市にあるグリム絵本館において定期的に季節にちなんだイベントを開催し、地域の子育てやコミュニティ形成へのサポートを続けています。今回、第11回目のグリム絵本館では、節分をテーマとしたイベントを開催します。

日 時:2015年2月21日(土) 13:00~16:00
場 所:香芝市子育て支援センター内 グリム絵本館

対象者:一般(親子) 参加費:無料 お申し込み:不要
〔プログラム〕 ●季節の絵本を楽しもう! ●オニのお面をつくろう!

お問い合わせ:大阪樟蔭女子大学 子育て支援開発センター
〒639-0298 奈良県香芝市関屋958 TEL:0745-71-3172 FAX:0745-71-3141
E-mail:s-gakujyutsu@osaka-shoin.ac.jp



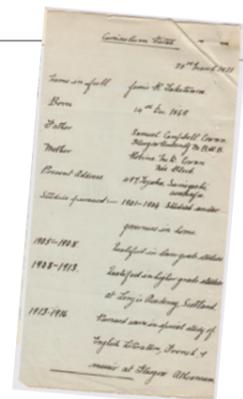
樟蔭 いまむかし



樟蔭高等女学校第1回卒業アルバム(大正10年度)より

竹鶴リタさんが 本学で教鞭をとっておられました

ニッカウキスキーの創業者の竹鶴政孝さんの奥様、竹鶴リタさんが来日して間もない大正10年ごろ、本学の高等女学校で英語の教員として教鞭をとっておられたことが判りました。中央の毛皮のコートを羽織っておられる方がNHK連続テレビ小説「マッサン」のヒロイン・亀山エリーのモデルとなった竹鶴リタさんです。



リタさん直筆の履歴書

学校法人樟蔭学園 平成25年度決算概要

平成25年度決算が、5月27日の理事会で承認されました。
 資金収支計算書・消費収支計算書・貸借対照表の概略を掲載し、併せて「学校法人会計の特徴」及び「財務比率」についても説明致します。
 なお、樟蔭学園のホームページにおいても、財務状況について開示しております。
http://www.osaka-shoin.ac.jp/open_info/finance.html からご確認ください。

(1) 資金収支計算書の概要

平成25年4月1日から平成26年3月31日まで

(単位 千円)

| 収入の部 | | | | | |
|------------|-----------|-----------|-------------|-----------|--------|
| 科目 | 平成25年度 | 平成24年度 | 増減 | 増減率(%) | 備考 |
| 学生生徒等納付金収入 | 3,489,199 | 3,609,432 | △ 120,233 | △ 3.33% | ☆ |
| 手数料収入 | 57,149 | 60,121 | △ 2,972 | △ 4.94% | ☆ |
| 寄付金収入 | 97,174 | 33,899 | 63,275 | 186.66% | ☆ |
| 補助金収入 | 793,048 | 706,314 | 86,734 | 12.28% | ☆ |
| 資産運用収入 | 82,196 | 132,574 | △ 50,378 | △ 38.00% | ☆ |
| 資産売却収入 | 1,895,741 | 300,363 | 1,595,378 | 531.15% | |
| 事業収入 | 36,829 | 38,842 | △ 2,013 | △ 5.18% | ☆ |
| 雑収入 | 173,420 | 229,152 | △ 55,732 | △ 24.32% | ☆ |
| 借入金等収入 | 900,000 | 67,046 | 832,954 | 1,242.36% | ※長期借入金 |
| 前受金収入 | 572,652 | 615,707 | △ 43,055 | △ 6.99% | |
| その他の収入 | 902,955 | 790,877 | 112,078 | 14.17% | |
| 資金収支調整勘定 | △ 818,131 | △ 849,636 | 31,505 | △ 3.71% | |
| 前年度繰越支払資金 | 957,622 | 1,417,364 | △ 459,742 | △ 32.44% | |
| 収入の部合計 | 9,139,854 | 7,152,055 | 1,987,799 | 27.79% | |
| 支出の部 | | | | | |
| 科目 | 平成25年度 | 平成24年度 | 増減 | 増減率(%) | 備考 |
| 人件費支出 | 3,108,511 | 3,334,866 | △ 226,355 | △ 6.79% | ☆ |
| 教育研究経費支出 | 1,017,120 | 921,230 | 95,890 | 10.41% | ☆ |
| 管理経費支出 | 381,379 | 348,236 | 33,143 | 9.52% | ☆ |
| 借入金等利息支出 | 1,943 | 4,645 | △ 2,702 | △ 58.17% | |
| 借入金等返済支出 | 67,060 | 134,106 | △ 67,046 | △ 49.99% | |
| 施設関係支出 | 3,483,172 | 74,846 | 3,408,326 | 4,553.79% | ※1 |
| 設備関係支出 | 89,629 | 59,117 | 30,512 | 51.61% | ※2 |
| 資産運用支出 | 319,634 | 1,349,281 | △ 1,029,647 | △ 76.31% | |
| その他の支出 | 375,907 | 332,995 | 42,912 | 12.89% | |
| 資金支出調整勘定 | △ 272,127 | △ 364,889 | 92,762 | △ 25.42% | |
| 次年度繰越支払資金 | 567,626 | 957,622 | △ 389,996 | △ 40.73% | |
| 支出の部合計 | 9,139,854 | 7,152,055 | 1,987,799 | 27.79% | |

☆印は、消費収支計算書の概要を参照。

(2) 消費収支計算書の概要

平成25年4月1日から平成26年3月31日まで

(単位 千円)

| 消費収入の部 | | | | | |
|--------------|-------------|-------------|-------------|-------------|-----|
| 科目 | 平成25年度 | 平成24年度 | 増減 | 増減率(%) | 備考 |
| 学生生徒等納付金 | 3,489,199 | 3,609,432 | △ 120,233 | △ 3.33% | ※1 |
| 手数料 | 57,149 | 60,121 | △ 2,972 | △ 4.94% | ※2 |
| 寄付金 | 104,401 | 43,754 | 60,647 | 138.61% | ※3 |
| 補助金 | 793,048 | 706,314 | 86,734 | 12.28% | ※4 |
| 資産運用収入 | 82,196 | 132,574 | △ 50,378 | △ 38.00% | ※5 |
| 資産売却差額 | 6,230 | 3 | 6,227 | 207,566.67% | |
| 事業収入 | 36,829 | 38,842 | △ 2,013 | △ 5.18% | ※6 |
| 雑収入 | 180,488 | 229,152 | △ 48,664 | △ 21.24% | ※7 |
| 帰属収入合計 | 4,749,540 | 4,820,192 | △ 70,652 | △ 1.47% | |
| 基本金組入額合計 | △ 1,200,205 | △ 131,941 | △ 1,068,264 | 809.65% | |
| 消費収入の部合計 | 3,549,335 | 4,688,251 | △ 1,138,916 | △ 24.29% | |
| 消費支出の部 | | | | | |
| 科目 | 平成25年度 | 平成24年度 | 増減 | 増減率(%) | 備考 |
| 人件費 | 3,080,533 | 3,248,452 | △ 167,919 | △ 5.17% | ※8 |
| 教育研究経費 | 1,440,740 | 1,382,852 | 57,888 | 4.19% | ※9 |
| 管理経費 | 422,899 | 388,484 | 34,415 | 8.86% | ※10 |
| 借入金等利息 | 1,943 | 4,645 | △ 2,702 | △ 58.17% | |
| 資産処分差額 | 244,166 | 1,404 | 242,762 | 17,290.74% | |
| 徴収不能額 | 4,290 | 27,013 | △ 22,723 | △ 84.12% | |
| 徴収不能引当金繰入額 | 0 | 1,494 | △ 1,494 | △ 100.00% | |
| 消費支出の部合計 | 5,194,571 | 5,054,344 | 140,227 | 2.77% | |
| 当年度消費収支超過額 | △ 1,645,236 | △ 366,093 | | | |
| 前年度繰越消費収支超過額 | △ 6,793,504 | △ 6,485,551 | | | |
| 基本金取崩額 | 11,235 | 58,140 | | | |
| 翌年度繰越消費収支超過額 | △ 8,427,505 | △ 6,793,504 | | | |

注記内容

- ※1 学生生徒数は前年度より大学・中学・幼稚園で減、高校は増となり、納付金額は減となった。大阪府授業料支援補助金増額に伴う授業料軽減額は増額となり、学生生徒等納付金全体としては減収となる。
- ※2 受験生は、高校・中学で増となったが、大学で大幅な減となり、手数料全体としては減収となる。
- ※3 樟蔭同窓会・大学後援会・樟蔭保護者会・卒業生・教職員等よりの100周年記念事業募金及び、任意寄付金が増収となり、現物寄贈の寄付は減収となった。寄付金全体としては増収となる。

注記内容

- ※1 本年度の主な施設充実
小阪キャンパス整備計画に伴う21号棟(大学体育館)新築、大阪クラブボックス新築・テニスコート用具倉庫設置、14・19・20号棟改修工事、22号棟(翔空館)23号棟(清志館)新築着工 など。
- ※2 本年度の主な設備充実
新体育館椅子1,050脚・昇降階段、大学ポータル達成度自己評価システム関連(備品・ソフト)、高校・中学情報第1・2教室用パソコン他、寄付金管理システム など。

- ※4 補助金全体としては、経常費補助金及び私立大学等教育研究活性化設備整備費補助金、授業料支援等補助金に係る補助金の増額を主な理由として増収となる。内訳は次のとおりである。

- 経常費補助金(特別補助金を含む)は減額[4.5%増][大学5.6%増][高校8.7%増、中学11.9%減、幼稚園2.6%減]
- 私立大学等教育研究活性化設備整備費補助金採択。
- 私立学校施設高度化推進事業費補助金(利子助成)採択。
- 私立学校施設整備費補助金(アセス除去)申請なし。
- 大阪府私立高等学校がなびった学校支援補助金申請なし。
- 私立高等学校IT教育設備整備費補助金採択。
- 大阪府私立高等学校等教育振興補助金採択。
- 授業料支援等補助金は増額。[23.0%増][高校 22.5%増、幼稚園34.0%増]

- ※5 為替の状況により、資金の運用は増収。

- ※6 受託研究費については増収となったが、公開講座の減収、大学寮生減に伴う寮費の減収を主な理由として事業収入全体としては減収となる。

- ※7 退職金財団加入の教職員の25年度退職者減員に伴う交付金の減収を主な理由とし、雑収入全体としては減収となる。

- ※8 教職員の減員、賞与率見直し、退職者の減員などを主な理由とし、人件費全体としては減額となる。

- ※9 教育用機器のリース料(期間満了に伴う減)、大学施設修繕、短期大学廃止、教育関係資産の減価償却額などが減額となったが、小阪キャンパス整備に伴う校舎解体費用、電気代の値上げを主な理由として、全体としては増額となる。

- ※10 学生生徒募経費の増額、小阪キャンパス整備計画に伴う校舎解体による平成18・19年度施設整備費補助金の返還金の計上を主な理由とし、全体としては増額となる。

(3) 貸借対照表の概要

平成26年3月31日

(単位 千円)

| 資産の部 | | | | | |
|----------|------------|------------|-------------|----------|----|
| 科目 | 平成25年度 | 平成24年度 | 増減 | 増減率(%) | 備考 |
| 固定資産 | 21,151,149 | 18,944,900 | 2,206,249 | 11.65% | |
| 有形固定資産 | 17,155,582 | 14,279,634 | 2,875,948 | 20.14% | ※1 |
| その他の固定資産 | 3,995,567 | 4,665,266 | △ 669,699 | △ 14.36% | ※2 |
| 流動資産 | 894,545 | 2,884,830 | △ 1,990,285 | △ 68.99% | ※3 |
| 資産の部合計 | 22,045,694 | 21,829,730 | 215,964 | 0.99% | |

負債の部

| 科目 | 平成25年度 | 平成24年度 | 増減 | 増減率(%) | 備考 |
|--------|-----------|-----------|-----------|----------|----|
| 固定負債 | 2,999,630 | 2,134,932 | 864,698 | 40.50% | ※4 |
| 流動負債 | 1,039,153 | 1,242,856 | △ 203,703 | △ 16.39% | ※5 |
| 負債の部合計 | 4,038,783 | 3,377,788 | 660,995 | 19.57% | |

基本金の部

| 科目 | 平成25年度 | 平成24年度 | 増減 | 増減率(%) | 備考 |
|---------|------------|------------|-----------|--------|----|
| 第1号基本金 | 25,948,416 | 24,759,446 | 1,188,970 | 4.80% | ※6 |
| 第4号基本金 | 486,000 | 486,000 | 0 | 0.00% | |
| 基本金の部合計 | 26,434,416 | 25,245,446 | 1,188,970 | 4.71% | |

消費収支差額の部

| 科目 | 平成25年度 | 平成24年度 | 増減 | 増減率(%) | 備考 |
|-----------------------|-------------|-------------|-------------|--------|----|
| 翌年度繰越消費収支超過額 | △ 8,427,505 | △ 6,793,504 | △ 1,634,001 | 24.05% | |
| 負債の部・基本金の部・消費収支差額の部合計 | 22,045,694 | 21,829,730 | 215,964 | 0.99% | |

| | | | | | |
|---------------|------------|------------|-----------|---------|--|
| 減価償却額の累計額の合計額 | 10,523,968 | 10,680,720 | △ 156,752 | △ 1.47% | |
| 基本金未組入額 | 931,541 | 99,736 | 831,805 | 834.01% | |

(4) 学校法人会計の特徴

学校法人の決算書は「資金収支計算書」「消費収支計算書」「貸借対照表」の3つの財務諸表で構成されています。

資金収支計算書は、当該会計年度(4月1日～3月31日)の諸活動に対応するすべての収入及び支出の内容並びに当該会計年度における支払資金の収入及び支出のふんを明らかにします。

消費収支計算書は、当該会計年度の消費収入と消費支出(正味財産の増と減)の内容及び両者の均衡状態を明らかにし、学校法人の経営状況を表します。企業会計の損益計算書の目的に類似した計算書となっています。消費収入は、当該会計年度の帰属収入(学校法人に帰属する、負債とならない収入をいう。)を計算し、その額から固定資産を取得するための支出や積立金などで構成される基本金組入額を控除して計算します。消費支出は、当該会計年度において消費する資産の取得価額及び当該会計年度における利用の対価に基づいて計算します。そして、当該会計年度の収支の均衡状態は、当年度消費収支超過額で表します。

貸借対照表は、学校法人の資産・負債・正味財産(基本金+消費収支

差額)を把握し、財政状態を明らかにした、長期的な運営の方向性を決めるための財務諸表です。資金収支計算書と消費収支計算書が単年度ごとの状況を表す一方、貸借対照表は、今までの学校法人の活動を行ってきた積み重ねの結果を表します。企業会計と同じく、借方に資産、貸方に負債を計上します。貸方に「基本金の部」を計上するなどの違いはありますが、企業会計の貸借対照表と構造は似ています。

学校法人の収支状況を見るには、消費収支計算書の帰属収支差額に注目します。

帰属収支差額は、帰属収入から消費支出を差し引いたもので、企業会計でいう収益から費用を差し引いた利益に相当するものであります。

しかし、学校法人は一般の企業に比べ極めて公共性が高く、安定した経営を維持して行く必要があるため、この利益は利潤ではなく、学校の施設設備等の取得財源や借入金の返済財源となるものです。つまり、帰属収支差額によって、当該年度の施設設備等の充実、借入金返済、将来の施設設備の更新等のための引当特定資産等の充実に行

われることとなります。

そして、学校法人会計基準は、その財源(学校法人を継続的に維持すべき財源)に充当すべき額を基本金とし、消費支出に充てる前の帰属収入のうちから控除して組入れる(確保すること)となっています。

帰属収支差額がプラスの場合は、当該年度において自己資金が確保されていることを表し、マイナスの場合は、帰属収入で消費支出を賅えない状態であり、基本的には過年度において蓄積された自己資金を食い潰すか、借金をしない限り経営が成り立たないことを示しています。

ただ、収支状況は単年度のみを見るだけでは判断出来ませんので、過去数年間の傾向や今後の収支の予測を考慮する必要があります。一般の企業の経営が利益追求を目的としているのに対して、学校法人の経営は長期安定的に教育研究活動を継続することに主眼がおかれています。学校法人の財務諸表は、学校が、教育研究活動の質的向上を図りながら、いかに安定的な余裕資金を維持し、資産を形成しているかという視点で見ることが重要であります。

学校法人樟蔭学園の平成24年度及び平成25年度の財務比率

※表欄外の下線付きの数字は、日本私立学校振興共済事業団「今日の私学財政」の平成24年度全国大学法人規模別比率を示します。

※自己資金＝基本金+消費収支差額 ※総資金＝負債＋基本金＋消費収支差額 ※運用資産＝その他の固定資産＋流動資産 ※外部負債＝総負債－(退職給与引当金＋前受金)

消費収支計算書関係

■人件費比率
人件費は消費支出の中で最大の部分を占めているため、この比率が特に高くなると消費支出の悪化を招きやすい。

| 計算式 | 樟蔭学園全体 | | 50.7% |
|------|--------|--------|-------|
| | 平成24年度 | 平成25年度 | |
| 人件費 | 67.4% | 64.9% | |
| 帰属収入 | | | |

教育研究経費比率

この経費は教育研究活動の維持発展のため高い方がよい。しかし、この比率が著しく高い場合は、消費収支の均衡を崩す要因の一つともなる。

| 計算式 | 樟蔭学園全体 | | 34.4% |
|--------|--------|--------|-------|
| | 平成24年度 | 平成25年度 | |
| 教育研究経費 | 28.7% | 30.3% | |
| 帰属収入 | | | |

管理経費比率

学校法人の運営のためには、ある程度の経費の支出は止むをえないが、比率として低い方が望ましい。

| 計算式 | 樟蔭学園全体 | | 8.0% |
|------|--------|--------|------|
| | 平成24年度 | 平成25年度 | |
| 管理経費 | 8.1% | 8.9% | |
| 帰属収入 | | | |

消費収支比率

この比率が100%を超える、消費支出が消費収入を上回る消費支出超過(赤字)となり、100%未満であると消費収入超過(黒字)となる。一般的には、収支が均衡する100%前後が望ましいと考えられるが、消費収支を黒字にして資金蓄積を図ることを計画するならば、低い値ほど目的に達することになる。

| 計算式 | 樟蔭学園全体 | | 104.1% |
|------|--------|--------|--------|
| | 平成24年度 | 平成25年度 | |
| 消費支出 | 107.8% | 146.4% | |
| 消費収入 | | | |

貸借対照表関係

■固定比率
固定資産の自己資金に対する割合で、固定資産にどの程度自己資金が投下されているか、資金の調達源泉とその使途とを対比させる比

率である。低い方が望ましい。固定資産に投下した資金の回収は長期間にわたるため、本来投下資金は返済する必要のない自己資金を充てることが望ましい。しかし、現実的には大規模設備投資の際には、外部資金の導入をせざるをえない場合が多いため、この比率が100%を超えることは少なくない。このような場合は、固定長期適合率も利用して判断する必要がある。

| 計算式 | 樟蔭学園全体 | | 95.6% |
|------|--------|--------|-------|
| | 平成24年度 | 平成25年度 | |
| 固定資産 | 102.7% | 117.5% | |
| 自己資金 | | | |

自己資金構成比率

自己資金の総資金に占める構成割合である。この比率は、学校法人の資金の調達源泉を分析する上で、最も総合的で重要な指標である。この比率は、高いほど財政的に安定しており、50%を割ると他人資金が自己資金を上回っていることを示している。

| 計算式 | 樟蔭学園全体 | | 87.3% |
|------|--------|--------|-------|
| | 平成24年度 | 平成25年度 | |
| 自己資金 | 84.5% | 81.7% | |
| 総資金 | | | |

内部留保資産比率

その他の固定資産(各種引当資産や長期有価証券など)と流動資産(現金預金や短期有価証券など)を合計した運用資産から総負債を引いた金額の総資産に占める割合である。

この比率は、有形固定資産以外の資産から総負債を引いた金額が、消費規模に比べてどのくらいあるかを評価する指標である。この比率がプラスであると、その他の固定資産と流動資産で負債総額を全て充当することができ、結果として有形固定資産は自己資金で調達されていることを意味している。プラス幅が大きいほどその他の固定資産と流動資産の合計した運用資産の蓄積度が大きい。一方、この比率がマイナスの場合は、貯蓄された運用資産より総負債が上回っており、財政上の余裕度が少ないことを表している。

| 計算式 | 樟蔭学園全体 | | 27.0% |
|------------|--------|--------|-------|
| | 平成24年度 | 平成25年度 | |
| (運用資産-総負債) | 19.1% | 3.9% | |
| 総資産 | | | |

注記内容

- ※1 増額の主な理由
新体育館新築工事、シボル棟(翔空館)新校舎棟(清志館)着工他による増額。

- ※2 減額の主な理由
減価償却引当特定資産への繰入基準の変更に伴う取崩しによる減額。

リレー★コラム

Column-07

『観に行きたくなる歌舞伎』

大学学芸学部 国文学科 森西真弓 先生



もりにしまゆみ
●大学 学芸学部
国文学科 教授
京都府生まれ。2009年より
大阪樟蔭女子大学に勤務。
専門分野は日本芸能史。

市川海老蔵や中村獅童、片岡愛之助といった、華やかな若手俳優を生み出す伝統芸能の歌舞伎。そのルーツは江戸時代初期までさかのぼります。今も人気が衰えない魅力の源泉はどこにあるのでしょうか。成立の経緯や特色、独特の舞台機構をご紹介します。

語源は「傾く」

歌舞伎が生まれたのは江戸幕府が開かれたのと同じ1603年です。場所は京都、開祖は出雲の阿国という男装の麗人でした。華やかな衣裳を身にまとい踊る姿が「かぶき(傾き)者」と呼ばれたのです。そこへ後に「歌舞伎」の文字を与えたのが名前の起こりでした。間もなく女性が携わることが幕府によって禁止され、代わって美少年たちによる若衆歌舞伎が登場します。今でいえばビジュアル系ロッカーのような存在でした。しかし、これまた幕府から

風紀を乱すことを理由に禁止されてしまいます。最終手段として現れるのが成人男性による野郎歌舞伎です。やっと幕府の許可が下りましたが、今度は中身の変革が求められるように。女性や美少年に自然と備わっていた美しさや格好よさではなく、ドラマの充実や演技の巧さが必要になったのです。

幕、そして回り舞台

内容の充実を図るのと並行して進められたのが舞台機構の変革でした。場面の転換を観客へ示すために考案されたのが幕。いったん幕を閉めてセットを交換しました。けれども、それでは観客を待たせてしまいます。そこでさらに発明されたのが回り舞台です。幕を閉めることなく舞台を180度回転させることで場面転換を可能にしたのです。初めに使用されたのは大阪道頓堀の劇場・角座。考えたのは劇作



家の並木正三。1758年のことでした。すべては観客へのサービスから生まれた工夫でした。そしてもちろん、作品の充実。鶴屋南北や河竹黙阿弥といった作者たちが、人の世の喜び、悲しみを作中人物たちの人生を通して描き出しました。小説も演劇も時代を越えて読む人、見る人の心を打ちます。日本の伝統芸能に映し出されたさまざまなドラマを味わってみませんか。きっとあなたの人生をより豊かにしてくれることでしょう。

STAFF @ SHOIN 07

住友元美さん

田辺聖子文学館 学芸員

すみとももとみ ●奈良女子大学、名古屋大学大学院修了。2001年から大阪樟蔭女子大学非常勤講師。2007年11月から田辺聖子文学館学芸員として勤務。文学館は「田辺聖子全集」をはじめ単行本・雑誌・文庫本を含めた約450冊を展示。文庫本は手に取って見られるようにしている。「田辺文学は大阪弁を駆使した人情味とユーモアが魅力。田辺作品を多くの人に伝えるのが私の役目です」



研究や学習の場にしようと動き始めたところです。秋には「終戦70年」をテーマにした特別展を企画しています。田辺さんは樟蔭女子専門学校在学中に終戦を迎えました。そのころに書いた短編小説「十七のころ」の自筆原稿なども展示する予定です。

文庫)の中に出てくるこんな言葉はどうでしょう。へいささかは 苦労しましたと言いたいが 苦労が聞いたら 怒りよるやろ。なんだかおかしくて、励まされる感じがしませんか。田辺さんは大阪を代表する川柳作家である岸本水府の評伝を書いた際、多くの貴重な資料も収集しています。それらも保存・活用できるようにしたいと思います。この文学館を単なる展示施設に終わらせたくない。田辺文学の研究拠点にしたいんです。学芸員の仕事は多岐にわたります。展覧会を企画するほか、講演会を開いたり、さらにはネットオークションをチェックして資料を収集することも。最近では大学のミュージアム連携事業に参入し、若い人の研究や学習の場にしようと動き始めたところです。秋には「終戦70年」をテーマにした特別展を企画しています。田辺さんは樟蔭女子専門学校在学中に終戦を迎えました。そのころに書いた短編小説「十七のころ」の自筆原稿なども展示する予定です。



文庫本は辞書代わりに使用しています



言葉の魅力に触れるきっかけに

「聖子さんの言葉をひとつ持って帰って下さい」。いつも来館者にそう話してくれます。文学を遠いものと思わず、言葉の豊かさ、魅力に触れるきっかけになればうれしい。だって田辺さんの言葉で気分がちょっと楽になったり、1日を楽しく過ごせたりしますから。たとえば、田辺さんが夫の介護を書き留めた日記『残花亭日暦(角川

